

報道関係各位

2015年2月18日

株式会社博報堂  
株式会社博報堂DYメディアパートナーズ  
ナチュラルスマイルジャパン株式会社

## 博報堂と博報堂DYMPとナチュラルスマイルジャパン、 事業所内保育施設の設置・運営支援を行う 「かいしゃほいくえん」プログラムを提供開始

事業所内保育施設のハード・ソフト開発から企業ブランディングまでを一貫してサポート  
企業の福利厚生担当者・基礎自治体向けのセミナーを3月5日(木)に開催

株式会社博報堂(東京都港区、代表取締役社長:戸田裕一)と株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(東京都港区、代表取締役社長:大森壽郎)は、ナチュラルスマイルジャパン株式会社(東京都練馬区、代表取締役:松本理寿輝)と共同で、事業所内保育施設の設置・運営支援を行う「かいしゃほいくえん」プログラムの提供を開始いたしました。

博報堂と博報堂DYMPは広告会社の知見を生かし、開設決定のコンサルティング、空間デザイン、コンテンツ、企業ブランディングのプランニングなどを行い、ナチュラルスマイルジャパンは保育プログラムの開発、保育士のリクルーティング、保育施設の運営管理などを行います。

近年、保育に対する需要は年々高まりつつあり、2017年にピークを迎えるとされている<sup>(※1)</sup>待機児童問題の解決に向けて、各支援制度の整備が進んでいます。また、企業は魅力的な人材を確保するため、および企業イメージ向上の観点から事業所内保育施設に注目するケースが見られます。「かいしゃほいくえん」は今後、保育施設/保育士の「量」だけではなく、高水準な保育を提供する「質」の確保にも大きなニーズが生まれるという認識のもと、付加価値の高いプログラムを提供してまいります。

「かいしゃほいくえん」プログラムの実施により、事業所内保育施設を利用する生活者(父母および児童)向けには、独自の知見とネットワークを生かした質の高い保育(教育)プログラムの提供、保育士の確保などの付加価値が期待されます。また実施企業にとっても、企業の特徴を反映した空間・設備開発、保育プログラム開発を行うほか、地域との繋がり創出、イベント開催、他企業とのコラボレーションなど、保育施設を企業ならではのブランディングを行う拠点と位置付けることが可能です。

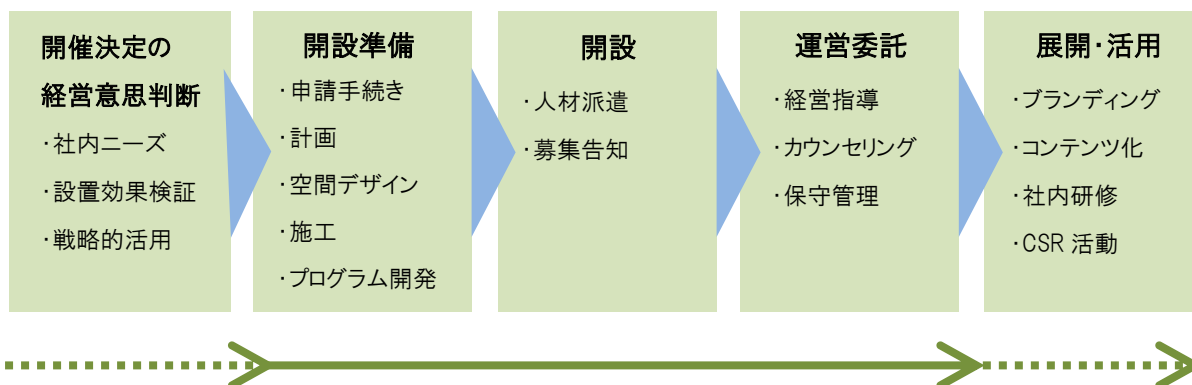
当プログラムは2015年4月の受注開始に向け、2015年3月5日(木)に企業の福利厚生担当者、基礎自治体向けのセミナーを開催いたします。行政、団体、企業による育児の現状分析や先端的な事例の紹介とともに、提供プログラムの詳細なご説明をおこなう予定です。

(※1)2015年1月14日厚生労働省「保育士確保プラン」より <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000070943.html>

**※セミナーお申し込みページ:** <https://eng3.dstyleweb.com/orca/50876420>  
お問い合わせ:博報堂コンサルティング局 兎洞 木下 川口 (TEL:03-6441-8646)

報道関係者 株式会社博報堂 広報室 西本 (TEL:03-6441-6161)  
お問い合わせ先 株式会社博報堂DYメディアパートナーズ 広報室 山崎 (TEL:03-6441-9347)

## 【「かいしゃほいくえん」プログラム 実施フロー】



## 【「かいしゃほいくえん」プログラムの特徴】

### ①保育(教育)プログラム／保育士の確保／空間デザイン

人格形成期の0-6歳時に重要な「多様な人との関わり」「非認知的の力の育成」など21世紀型スキルの定着を目指したプログラムの開発、企業の「らしさ」を盛り込んだ教育の実現など、独自のプログラム開発をおこなう。空間デザインにおいては博報堂／博報堂DYMPのクリエイティビティを生かし、こどもの発達、成長にふさわしい空間計画やデザイン、素材選びによって事業所内保育園のコンセプトを空間設計に練りこむ。また、ナチュラルスマイルジャパンとの協働によって「企業ならではの教育プログラム」が実現できる、保育士のリクルーティングが期待できる。

### ②企業活動への効果（女性の働きやすさ・人材育成、開発・組織風土改革・メンタル改革）

社員・会社・地域のためのプログラム設計。企業の福利厚生の実現だけでなく、大人の学びにも繋がる教育プログラムを。事業所内保育園の設立を契機に、企業内の組織・意識変革や地域との繋がりをサポートすることで、企業活動への波及効果を最大化する。

### ③企業ブランディング・コンサルティング

ブランディング視点、経営事業構想視点で、経営層へのコンサルティングを行う

## 【ナチュラルスマイルジャパン株式会社について】

東京都内で「まちの保育園 小竹向原」「まちの保育園 六本木」「まちの保育園 吉祥寺」を運営。保育所が、こどもの教育・生活の場であると共に、まちづくりの拠点として、こどももおとなもつながり合う地域福祉に寄与する場となることを目指しており、同取り組みはマスメディア等でも注目されている。保育所の運営と共に、他法人に対して保育所や学校運営について、自治体・企業に対してまちづくりやこども関係の施策・事業立案等についての、コンサルティング・プロデュース業務を行っている。

### ◆事業内容:

- ・直営保育園「まちの保育園」の運営
- ・他法人に対し、保育所や学校運営についてのコンサルティング・プロデュース業務
- ・自治体・企業に対し、まちづくりやこども関係の施策・事業立案等についてのコンサルティング・プロデュース業務

## 【セミナー開催概要】

日時:2015年3月5日(木) 16:00~19:00

場所:六本木泉ガーデンコンファレンスセンター ルーム 1

東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅直結、東京メトロ日比谷線「神谷町」駅より徒歩 7 分

東京メトロ銀座線・南北線「溜池山王」駅より徒歩 7 分、東京メトロ日比谷線・都営大江戸線「六本木」駅より徒歩 9 分

対象:企業の福利厚生担当者、基礎自治体担当者、報道関係者

主催:博報堂、博報堂DYメディアパートナーズ、ナチュラルスマイルジャパン株式会社

セミナーテーマ:

- ・家庭/地域/企業/社会が連携した新しい保育のあり方とは
- ・今後の事業所内保育に関わる助成などの最新動向
- ・企業での事業所内保育の実践ケーススタディと Q&A
- ・(株)博報堂の事業所内保育に関わる専門プロジェクト「かいしゃほいくえん」のご紹介

プログラム:

1. ナチュラルスマイルジャパン株式会社 松本理寿輝  
講演テーマ:「21世紀の保育、地域や社会の中心にこどもが存在する社会」
- 2.(株)博報堂 (株)博報堂DYMP 「かいしゃほいくえん」プロジェクト  
講演テーマ:事業所内保育に関わる最新動向
3. 株式会社ローソン ヒューマンリソースステーション 山口 恭子様  
講演テーマ:「事業所内保育施設『ハッピーローソン保育園』について」
4. (株)博報堂 (株)博報堂DYMP 「かいしゃほいくえん」プロジェクト  
講演テーマ:「かいしゃほいくえん」の事業紹介

※セミナーお申し込みページ(<https://enq3.dstyleweb.com/orca/50876420>)

申し込みお問い合わせ:博報堂コンサルティング局 兎洞 木下 川口(TEL:03-6441-8646)

## 【ご参考】「かいしゃほいくえん」プロジェクトー活動ビジョン

### こどもが社会の中心にいる世の中へ

子供を産み育てることを喜びと思える世の中にしたい。  
そうした想いからこのプロジェクトは生まれました。

現在、多くの人にとって働きながら子育てしていくことは、負担が大きくなっています。  
また、そのことが理由となって、子供を産むことに不安を感じる人も多いと思います。

私たちは、企業や企業に勤める者が、もっと子育てについて果たせる役割があるのではないかと、という出発点に立ち、このプロジェクトを立ち上げ、保育園の経営者、子育てママを支援しているNPO、実際の保育園の子供たち、教育の専門家、など多くの方々と直接に会って触れてきました。私たち自身も子供を持つ親として、子供を持たないビジネスマンとして話をしてきました。

そのなかで、私たちには大切な発見があります。

ひとつには、“こどもは、未成熟な小さな大人ではなく、大人とは違う力と可能性を持った存在”だということ。

ふたつめは、そうしたこどもの育ちを育むための“家庭と地域と働く場の新しいつながりが必要”だということ。

そしてみつめは、“社会の中でこのこどもとの関わりの中で、大人こそが学び、成長する”のだということ。です。

今までの社会は、分業を少しばかり追求し過ぎたのかもしれない。

次の時代を担う宝であるこどもの可能性や人格をまるごと尊重し、社会全体で育てていく、  
そして大人自身も学んでいけるような意識や仕組みを再構築することが大切だと思うのです。

私たちには見たい未来の社会の姿があります。

世の中のお父さんやお母さんが、会社にこどもを連れてくるのが“かっこいいこと”になっている社会。

会社にある保育園に多くの地域の人や社員が訪れ、その関わりの中でこどもが成長している社会。

そして、社会の真ん中にこどもの存在を感じることで、大人自身が健やかに生きていける社会。

です。

みなさんと一緒に、次の世代を大切にすることで今を豊かに生きることのできる世の中を創ってまいります。